

三軒茶屋駅
周辺

まちづくり 会議 オンライン



1月16日(土) 令和3年
14:30~18:00 参加無料

>>>>> 予約受付中

お申込〆切 令和3年1月8日(金)

※本イベントはインターネット上でのオンライン開催となります。

三軒茶屋駅周辺まちづくり会議 結果報告

まちづくり会議の概要

まちづくり会議の概要

開催日時	<p>2020年1月16(土) 14:30-18:00</p> <p>プログラム自体は17:00までとなっており、18時まではオンラインの会場をフリートークの場として開放した</p>
会場	<p>オンライン開催 (Web会議ツール「リモカンファレンス」)</p> <p>ただし、アクセスが難しい方向けに、PC等機器貸与の元、ソーシャルディスタンスを確保した形で参加可能なオンライン環境を生活工房内に準備</p>
目的	<p>既存のまちづくり活動を行っている団体などを広く周知し、お互いの情報共有や連携につなげ、活動の輪を広げていく</p> <p>(仮称)三茶のミライ(基本計画)の策定に向け、検討状況に関心を持ってもらうとともに、未来像や未来像実現に向けた取組みが、既存の活動に結びついていることを伝え、参加者のまちづくり活動の機運醸成につなげていく</p>
参加構成	<p>オンライン 126名 会場 2名</p> <p>(うち活動紹介者 20団体: 31名、区職員等 32名)</p>



三軒茶屋駅 周辺 まちづくり 会議 オンライン

1月16日(土)
14:30~18:00

令和3年

▶ 三軒茶屋駅周辺では、昨年度2回のまちづくり会議やシンポジウムの開催を通じ、「三茶」がさらに楽しいまちになることを目指して、「三茶」に関わる皆さんと一緒に考えを深めてきました。そんな中、日々の暮らし、働き方、人との関わり方など、大きく変化があった2020年。まちづくりの進め方において試行錯誤しながらも、この取り組みを継続していく必要はあります。今回の第3回まちづくり会議では、「三茶」でのまちづくりを推進する担い手と一緒にまちのミライを考えていきます。高い、アト、働くなど、さまざまな分野で活動している方々と直接、「三茶」のまちと関わっていくことの面白さ、楽しさを語り合ってみませんか？

お申込方法

本イベントはインターネット上でのオンライン開催となります。

パソコンでインターネット上から
ご参加可能な方

先着
100名

インターネット上からの
ご参加が難しい方

先着
20名



左記のQRコードを読み込んでいただき、世田谷区のイベントページ下部にございます「電子申込」フォームから、所定項目を入力の上お申し込みください。

パソコンを通じたインターネット環境のご用意が難しい場合でも、キャロタワー5F 生活工房セミナールームにお集まりいただき、本イベントにご参加いただける環境をご用意しております。お申し込みについては、下記お問い合わせ先まで電話・FAXにてお申し込みください。

※ご自宅等から本イベントへご参加される方は、後日参加URLを共有いたします。
※本イベントでは、Remo Conference(リモカンファレンス)というWEB会議の仕組みを使用する予定です。
インターネットに接続したパソコン環境を推奨します。詳しくは区のホームページをご覧ください。

お申込バッチ

令和3年1月8日(金)

お問い合わせ
世田谷区都市整備政策部 市街地整備課
TEL 03-5432-2556 FAX 03-5432-3055

※お問い合わせの際は「まちづくり会議について」とお声掛けください。

三茶のミライ 検索

FAXでお申し込みいただく方は下記項目を記入の上、03-5432-3055へご送付ください

項目 氏名(ふりがな) / 電話番号 / FAX番号 / 住所 / メールアドレス(PC) / 年代(例: 20代など)

主催 世田谷区

まちづくり会議プログラム

メインテーマ

未来像を参考にしながら、三茶というまちとの接点の中で、自らの生活の質の向上・自己実現に繋がる機会を見出し“自分だったら明日から何ができるか”を考えるきっかけをつくる

プログラム

1. (仮称)三茶のミライ(基本計画)策定の経緯について(区説明)

- 昨年度のまちづくり会議の報告
- (仮称)三茶のミライ(基本計画)の策定経緯の紹介と進捗報告
- (仮称)三茶のミライ(基本計画)を通して実現する9つのまちの未来像を紹介

2. ^介まちづくり実践者による未来像実現に向けた活動紹介・意見交換

- 三茶をフィールドにまちづくり活動を実践している方に登壇/出展していただき、活動紹介いただきながら、三茶での暮らしをより豊かにしていくために、互いにできることについて意見交換
- 世田谷区もブースを設置し、基本計画の未来像や、既存の区の取り組みについて参加者と意見交換する

3. 今後の展望(区説明)

- 策定までのスケジュールのご案内
- (仮称)三茶のミライ(基本計画)を策定するのは、三茶におけるまちづくりとしての小さな一歩であり、次年度策定に向けて区民意見募集などで引き続きご意見をいただきながら進めていく旨、今後も試行的な取り組みを企画しながら、今後のまちづくりの推進体制構築など、引き続き協力・関心を持ってほしい旨を説明

まちづくり会議実施にあたり、多くの活動紹介者様へご協力をいただきました

今回参加いただいた活動紹介者一覧（敬称略）

カテゴリ	団体名
町会	太子堂四丁目西山町会
	三軒茶屋町会
商店街	三軒茶屋銀座商店街振興組合
	Mishuku R.420
	三軒茶屋商店街振興組合
民間事業者	三茶WORK
	東急
	合同会社シナモンチャイ
	みんな電力
	Plat
地域活動者 (NPO等)	せたがやプレーパーク
	おきらくごらく広場
	三軒茶屋まち道楽
	トラストまちづくり
	世田谷文化生活情報センター
	社会福祉法人共生会SHOWA（旧NPO昭和）
	ものづくり学校
	三軒茶屋二丁目地区市街地再開発準備組合
	太子堂2・3丁目まちづくり協議会
太子堂2・3丁目まちづくり協議会	
大学	国土館大学
	昭和女子大学

まちづくり会議の成果

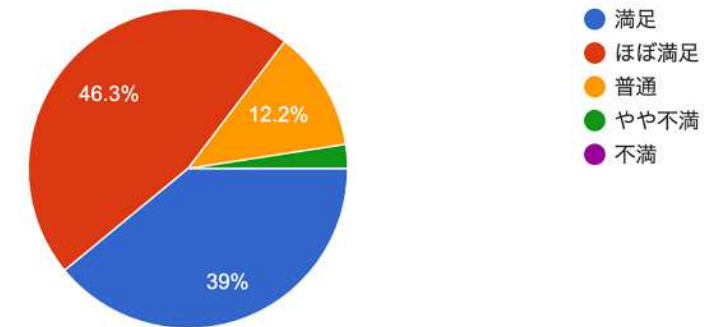
学生からシニアまで幅広い年齢層の方が集まり、活動紹介者と直接のコミュニケーションが取れたことで、刺激・満足度の高い場となったことが見受けられました

参加者属性 / アンケート結果 (n = 41)

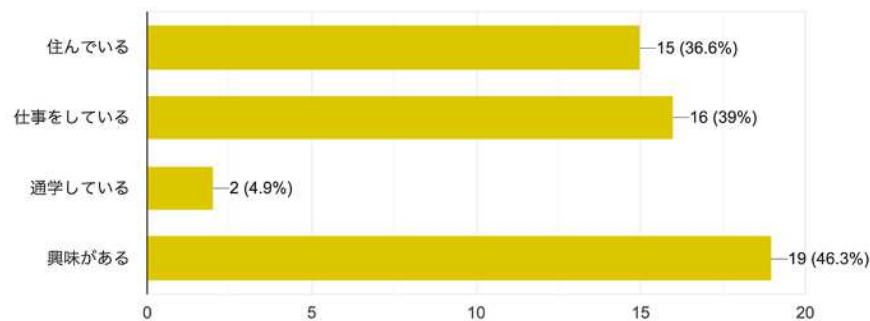
事前申込者：67名

年代	~19歳以下	20代	30代	40代
人数	0	14	12	15
割合	0%	21%	18%	22%
年代	50代	60代	70代	80代~
人数	16	6	3	1
割合	24%	9%	4%	1%

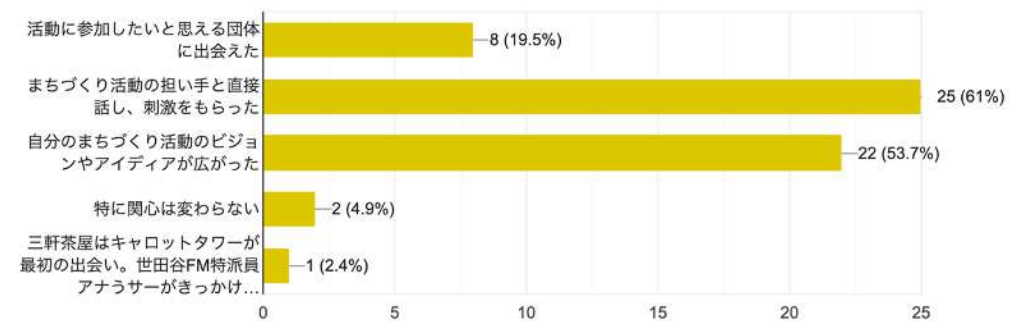
Q. 本日のまちづくり会議の満足度を教えてください



Q. あなたと三茶との関わりを教えてください



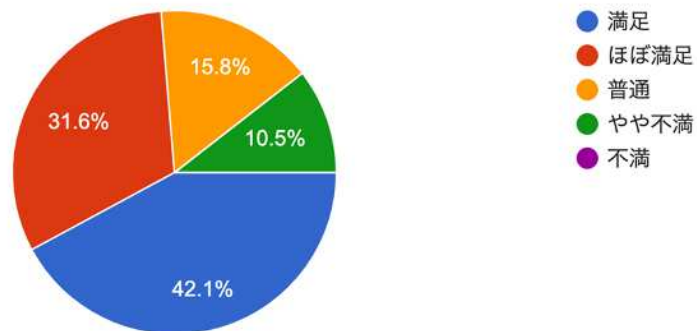
Q. 本日のまちづくり会議へのご参加を踏まえ、今後のあなたのまちづくり活動への興味はいかがですか？



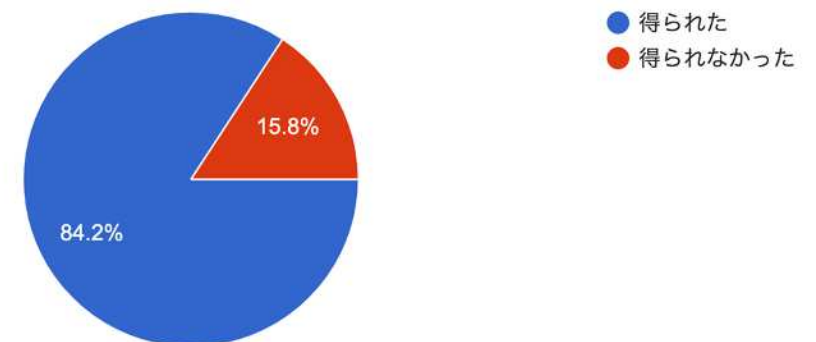
活動紹介者の会議への満足度や、区の取り組みへの評価は概ね高く、8割以上がテーブルトークを通して新しいアイデアや取り組みのヒントが得られたようです

活動紹介者アンケート n=19

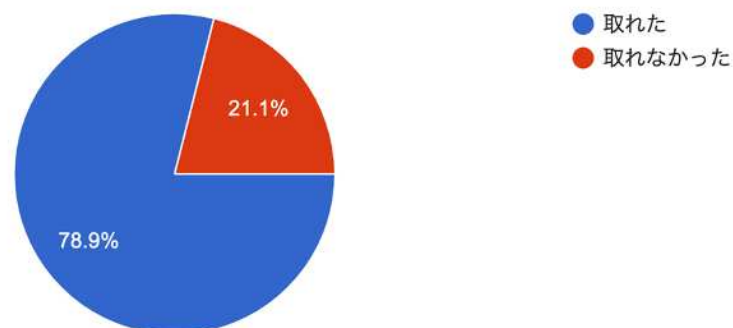
Q. 今回のオンラインまちづくり会議はいかがでしたか？



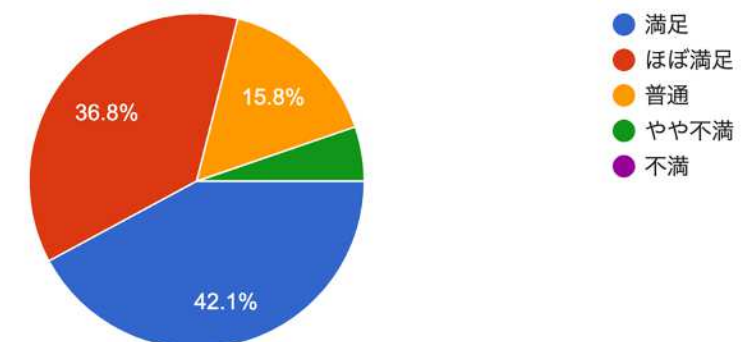
Q. 今回のテーブルトークを通して新しいアイデアや取り組みのヒントは得られましたか？



Q. 他の活動紹介者様とのコミュニケーションはとれましたか？



Q. まちづくり会議を含めたこれまでの世田谷区の取り組みについて評価をお聞かせください



テーブルトークでは活動紹介者の専門分野を超えた意見が交わされ、今後のまちづくり活動に活かせるような具体策が見えてきたことがわかりました

まちづくり会議で得られたアイデアやヒント（活動紹介者アンケートより抜粋）

- 💡 空き家などの不動産の活用
- 💡 対話の継続が新たなまちづくりの参加者につながる可能性を感じた
- 💡 三茶のミライ未来像 9つの示し方は、大括りの方が分かりやすい
- 💡 地名度が低いと感じたので、どう告知していくか課題であると感じた
- 💡 屋外空間の有効活用に向けたアイデア（ストリートファニチャーの設置、飲食店のテイクアウト出店、路上ライブ、こどもの遊び場づくりなど）
- 💡 回遊性向上のアイデア（歩道拡幅、シェアドスペース化、時間指定のレーンマネジメントなど）
駐輪施設と一体となった小規模な溜まり場づくり
- 💡 若年層が参加しやすくしていくために、地域に密着したコワーキングスペースやシェアオフィスなどで若年層が興味を持つようなテーマのイベントを定期開催する
- 💡 世田谷区へのふるさと納税を楽しく増やそう！という妄想
- 💡 様々な方から直接、声をいただけることがよかった
- 💡 公共空間や休憩場所などがない状況でできることはなにかについてのヒントを得ることができました
- 💡 三茶の魅力を活かしたい
- 💡 区民の方が三軒茶屋に対して感じていることに共通点があることに気づくことができた公共空間、くつろげる場所、ベンチなどが欲しいという声が多かった
- 💡 三軒茶屋を活動拠点とされている企業との学生コラボ企画
- 💡 プレーリヤカーの多団体とのコラボ
- 💡 組織を超えた取り組みの重要性
- 💡 情報発信力を高め、商店会が個人店の為のシステムやサービスを行う

テーブルトークでは活動紹介者の専門分野を超えた意見が交わされ、今後のまちづくり活動に活かせるような具体策が見えてきたことがわかりました

テーブルトークでの話題（区サポーター職員記録より抽出）

• 太子堂四丁目西山町会・三軒茶屋町会	孤独死防止の取り組み、町会の高齢化、西山囃子保存会による子どもたちへの伝統継承活動
• 太子堂2・3丁目まちづくり協議会	まちの歴史の広報、次世代の参加呼びかけ、住民参加の会の運営
• 三軒茶屋銀座商店街振興組合	リアルツアーからオンラインツアーへの誘導、事務所をデジタルインフラの拠点にする
• 三軒茶屋商店街振興組合	商店街の賑わい、栄通り商店街がおもしろい、三軒茶屋の坪単価が高い
• 三宿四二〇商店会	三宿四二〇商店会のイベント等の取り組みについて、道路環境に関するリサーチと改善策の検討について
• 昭和女子大学 杉浦久子研究室	研究室での活動状況、三角地帯の再開発について、三軒茶屋の記憶継承について
• 国土舘大学 都市デザイン研究室（西村研）	ふれあい広場の活用、シェアスペースによる国道246号線の南北分断の解消
• 三茶WORK	緊急事態宣言後の利用状況、個人用ブースの需要の増加、空き家の活用（三茶サウナなど）
• 東急株式会社 沿線開発事業部 世田谷区担当	世田谷線沿線でのまちづくりについて、エリアマネジメントの必要性、レトロな商店街が魅力
• plat	「パン屋」について、街にはくつろぎ空間が必要、歩行者天国の活用
• みんな電力株式会社	SDGs総理大臣賞受賞について、「空気の見える化」について、まちづくりと再エネの関係
• SANCHACO	世田谷線沿線での猫にちなんだ街歩き企画、猫を生かしたい建物づくりのPR
• プレーリヤカーkopan/プレーパークせたがや	活動への協力員の不足、地域コミュニケーションの場としての役割
• 社会福祉協議会 子育てサロン おきらくごきらく広場	女性のための複合的施設の設置、サロンを利用しやすい街、
• 三軒茶屋二丁目地区 市街地再開発準備組合	これまでの検討の経緯・現時点の施設計画素案の説明、広場空間の必要性、三角地帯の界限性に対する思い
• 三軒茶屋まち道楽実行委員会	民泊者の属性や動機、イベント開催時の手続きの煩雑さについて
• 一般財団法人 世田谷トラストまちづくりトラストみどり課	子どもの遊び空間の不足、コミュニティガーデンなど近所の人々の居場所づくり、未利用地等でのコミュニティ農園の可能性
• 社会福祉法人共生会SHOWA	「らぶらす」の利用者の特徴、コロナ禍でのDVの相談、毎年開催の女性起業のための講座、
• 公益財団法人せたがや文化財団 世田谷文化生活情報センター	文化の観点から今それぞれが取り組んでいることと将来展望(リアルとヴァーチャル、それぞれの限界と展開の可能性)
• 株式会社ものづくり学校	若年層のまちづくりへの巻き込み方、まちづくりの活動は海外でも知られている
• 世田谷総合支所街づくり課・都市整備政策部市街地整備課	今後の区のまちづくり(コロナ踏まえ)、三茶のミライで目指すもの、他地域との競争について

幅広いジャンルの活動紹介者が一同に介し、参加者と直接対話し、今まで接点のなかった団体同士のコミュニケーションが生まれたことも大きな収穫でした

活動紹介者からの声

三軒茶屋栄通り商店街

三軒茶屋商店街
振興組合

ユーザーが商店街に何を求めているのか、商店街に来たくなるにはどうしたらよいか、商店街の新しい形には何かあるか等の観点から話を聞き、様々な問題点の解決方法となるアイデアが得られて有意義だった。

普段どんな活動をしているか分からないと思うが、まずは気軽に足を運んで遊びに来てほしい。色んな団体との連携もウェルカムである。



SANCHACO
合同会社
シナモンチャイ

みんな電力

みんな電力

普段色んな方々から意見を聞く事が少ないので、まちづくり会議のような形で参加者と話をする機会が重要と感じた。

遠い目標に感じていた三茶のミライの9つの未来像が、参加者と話したり意見を聞くことで、自分たちの団体が行っている活動でも未来像に近づけることができるのではと考えることができる機会であった。



おきらくごらく広場

おきらくごらく広場



三茶WORK

想像していたよりも楽しかった。普段活動している空間では接点がない人々に出会えたのが面白かった。参加者との会話の中で、実際にいくつか活動してみようという話になった。

これまでに内部で完結していた活動のアイデアも、他の団体さんと協力することで新しいことが生まれそうな予感がした。

西村研究室 720



国土館大学
西村研究室

区長をはじめとした普段話せない人々と話せてよかった。普段自分たちが調査・研究の中で感じたことを参加者の中でも同じように感じていることが確認できたり、色んな立場の人と情報共有をできたのが一番の収穫だった。

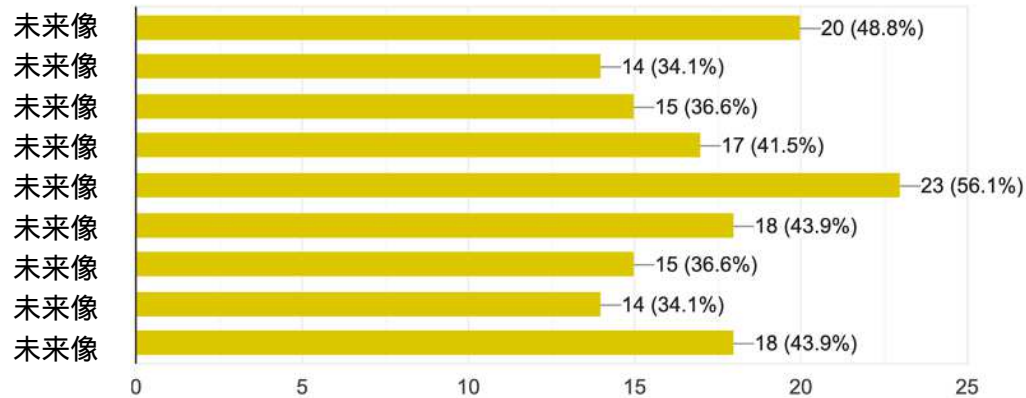
会議の形式や操作に不慣れだったため戸惑う部分もあったが、次回も事前準備を行ったうえで参加したい。今後の商店街の活動では、本日のまちづくり会議の参加者のような、新たな考えを持った人々の声を取り入れていきたい。



三軒茶屋銀座商店街
振興組合

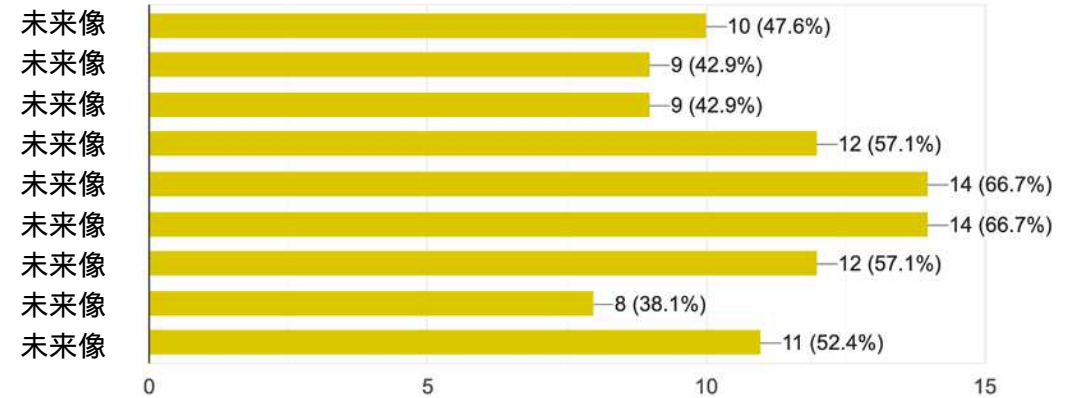
参加者・活動紹介者共に「誰もがまちづくりに関われるまち」への関心が高く、まちづくり会議の場がそのような意識を持つ人を繋ぐ潜在性があることが考えられます

関心を持った未来像（参加者アンケート） 複数回答



23票	未来像 : 誰もがまちづくりに関われるまち
20票	未来像 : 個性豊かな店が通りを彩るまち
18票	未来像 : 暮らしを通して様々な関係性が生まれるまち
18票	未来像 : 災害に強く、安全・安心のまち
17票	未来像 : 拠点性を活かして人々の活動を支えるまち

関心を持った未来像（活動紹介者アンケート） 複数回答



14票	未来像 : 誰もがまちづくりに関われるまち
14票	未来像 : 個性豊かな店が通りを彩るまち
12票	未来像 : 拠点性を活かして人々の活動を支えるまち
12票	未来像 : 誰でも気軽に出かけられるまち
11票	未来像 : 災害に強く、安全・安心のまち

9つの未来像

未来像 : 個性豊かな店が通りを彩るまち
 未来像 : 歴史を継承しアートを生み出すまち
 未来像 : 暮らしの近くに「働く」があるまち
 未来像 : 拠点性を活かして人々の活動
 未来像 : 誰もがまちづくりに関われるまち

未来像 : 暮らしを通して様々な関係性が生まれるまち
 未来像 : くつろぎの空間が育まれるまち
 未来像 : 誰でも気軽に出かけられるまち
 未来像 : 災害に強く、安全・安心のあるまち

（仮称）三茶のミライ（基本計画）策定にあたる9つの未来像について、参加者・活動紹介者から意見・アイデアが寄せられています

（仮称）三茶のミライ（基本計画）への意見 （参加者アンケート要約）

- ✓ 「三茶のミライ」はよく考えられている
- ✓ 未来像が多すぎる
- ✓ 災害に強い街がよい
- ✓ 具体的なイメージが思い浮かぶような表現が良い
- ✓ 職住近接があるまちがよい

取組みやアイデア（参加者アンケート要約）

- ✓ 再開発によって空間を創出する
- ✓ 高層ビルは不要
- ✓ 庶民的な部分やレトロなどの三茶らしさを残す
- ✓ 誰もがオープンに利用できる施設を増やす
- ✓ 三茶ならではのイベントで世界へ発信する
- ✓ 外国人観光客に向けた取組みを実施する
- ✓ 「ねつせた！」で取り上げていきたい

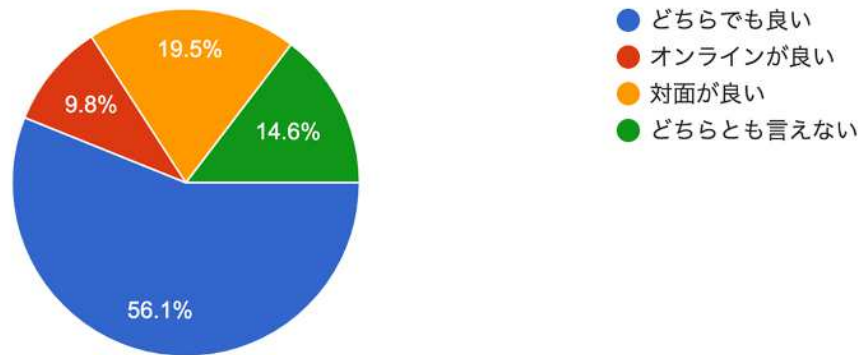
未来像に紐づく取組み・アイデア（活動者アンケート要約）

- ✓ 三茶サウナ
- ✓ ウィズコロナの時代における文化事業の地域との協働
- ✓ シェアドスペース・空間再配分の実験、仮設物を用いた小規模なまちの居場所づくり
- ✓ 世田谷区内のコワーキングスペースユーザー同士をオンラインツールを活用してコミュニティ化していきたい
- ✓ 未利用地、事業用地などを暫定的に活用して、コミュニティガーデンなど、近所の人々の居場所にできるのではないかと。特に三茶は多世代が密集しているエリア。高齢者の見守りを兼ねて、若い世代との接点を作る機会となる。
- ✓ 次世代メンバーの募集と、まちの歴史（特に住民参加のまちづくり）の広報
- ✓ 人との関係や出会いをつくれるイベント
- ✓ 道あそび
- ✓ まちづくりをベースとしたプラットフォームづくり
- ✓ -活動- アート 路上芸術祭 安心 街路灯&防犯カメラ
-アイデア- くつろぎ 店舗前にイスを出してもらう

初のオンライン開催ということで想定が及んでいなかったところもあり、運営面、WEB会議ツールの仕様の限界といった機能面の課題など、さまざまな声が寄せられました

参加者アンケート（開催形式／改善点）

Q.まちづくりイベントはオンライン開催と対面開催のどちらが良いですか？



- ✓ 気軽さなどオンラインならではの良さもあり、新たなまちづくりのプロセスと感じた。
- ✓ 情報共有することで、まちへの認識を一致させることが良かった
- ✓ もっと色々な人と話をしたかった
- ✓ 対面とは違った苦勞・疲勞を感じた
- ✓ 今後は、オンライン・対面、各々の良さを活かした開催方法で開催してほしい。
- ✓ 職員の参加の立場が不明瞭だった

活動紹介者アンケート（改善点）（1/2）

- ✓ 様々な領域の方が参加されていたこと、対話の時間がたくさんあったことが良かった。
定期的な取り組みにしていっても良いと感じた。
- ✓ オンラインツールの使い方を丁寧に伝え、操作に慣れることで、まちづくりのイベントへの活用が見込めることがわかった。今回のイベント実施のノウハウや、準備、当日のトラブル、会議の結果をまとめ、庁内でも共有し、さらに展開していきたい。
- ✓ この状況でよく開催できました。オンラインの効果と限界の両方を感じた。
- ✓ オンラインイベントの可能性を感じましたので、引き続き企画してもらいたい。
- ✓ 初めてリモカンファレンスに参加したが、自由に出入りが出来て、色々な方と交流が出来る、オンラインならではのとても面白い座組みだと感じた。一部屋の人数を増やせると良い。他の活動紹介者さんとコミュニケーションを取れる時間が設けられていると、なお良かったかと感じた。
- ✓ 意義のある試みでした。継続することが一番大切だと感じている。

初のオンライン開催ということで想定が及んでいなかったところもあり、運営面、WEB会議ツールの仕様の限界といった機能面の課題など、さまざまな声が寄せられました

活動紹介者アンケート（改善点）（2/2）

- ✓ 意義のある試みでした。継続することが一番大切だと感じている
- ✓ 休憩時間のアナウンスがメッセージのみだったので、そこでトークを切るのが難しかった。休憩に入るタイミングで強制的に仕切りなおす運用にした方が良かった。
- ✓ 時間できちんとメンバーがローテーションできたら良いと思いました。また、活動紹介者以外にも意識の高い方が多かったので、ファシリテーターは事務局が担当し、フラットな関係で議論ができて良かった。ここでの出会いを次につなげるフォローなどしてもらえると良いと思うので、当事者間に任せるのではなくあらかじめそのしくみをイベントに組み込んでもらえるとよかったです。機能面では、画面共有以外は特に問題無く進められ、楽しい経験だった。またあればぜひ参加したいと思います。
- ✓ ご高齢者の方が参加できてたのかが気になった。
- ✓ 新しい試みにチャレンジ！という姿を見せてもらい、私たち団体への刺激にもなった。コロナだから。。。とネガティブにとらえず、今できることは？と考えてチャレンジしていきたいとより強く思えた。
新しいことへの挑戦への壁はあると思いますが、ぜひ今後取り入れていただきたいと願っている。
- ✓ 活動紹介者が多すぎる。定員6人のテーブルでは少なすぎる。テーマごとに全員が討論する場が欲しい。この方法では他の大事な話を聞くチャンスを失う。イベントの全体成果を直接共有出来ない。
- ✓ このイベントの案内を三軒茶屋界隈で目にしなかったように思います。区の掲示板、ポスティング、駅での配布など参加してほしい人へ情報を届ける努力が必要と感じた。オンラインでは、会話はできて、対面には及ばない面がある。イベント後に実際に会う約束がしにくく、効果が薄くなっていると感じた。同じ予算や努力を使うのであれば、緊急事態宣言中の中、オンラインで行うのではなく、対面できるのを待ってからでもよかったのではないかと思います。
初めて会う行政の方が多くいてよかったが、いつも会ったりするまちづくりセンターの方などが参加されていなかった。
イベントの目的の設定、参加してほしい人の設定、内容、違和感を感じた。
コンサルに任せるのではなく、行政の方が、地域住民と話し、一緒に考え、企画していくのがあるべき姿ではなかったかと思います。
- ✓ さまざまな世代の方が参加していて、自分が住むまちに関心があったと感じた。

今後のまちづくりの進め方の意見や行政に求める意見をいただきました

参加者からの意見（要約）

- ✓ 様々な世代や人々が気軽に参加できる仕組みをつくるとよい
- ✓ 様々な人々を巻き込んでいかなければならない
- ✓ まちの魅力を向上し、来街者を増やす
- ✓ 交流や出会いのための場を継続してほしい
- ✓ 今までの取組み結果をどう活かしていくのか示してもらいたい
- ✓ このような取組みをネット上に記録として公開していく

活動紹介者からの意見（要約）

- ✓ 急ぐことなく、長い目で取り組んでいただくよう願っています。
- ✓ 独自の地域イベント、空き家活用イベントを開催中なので、その広報面のサポートをしてもらいたい。将来的には空き家を活用した創業の際の税制優遇や、初期費用の助成をしてほしい。
- ✓ 一方的な要望とかではなく、一緒に知恵を出し合って、より良いことを生み出していく場として、いろんな立場の人がフラットにお話できる機会があるとよい。
- ✓ 今後も、区としての視点での助言をいただけると助かります。
- ✓ 広報のためのHP製作などへの専門家派遣。
- ✓ 地域活動をちゃんと応援してほしい。余計なこと、迷惑なこと、をしようとしている人たちという印象を持たれていると日々感じている。
行政のやりたいやり方ではない、住民が取り組むやり方も理解し、応援する姿勢を常に持ってほしい。
- ✓ 数多く会合を持つことが大切と思います。
- ✓ 道路整備をお願いしたい。

オンラインを活用したまちづくり会議について

考 察

- ✓ 今回のまちづくり会議において、参加者の満足度は85%を超えた。会議においては、「三茶のミライ」への意見をいただくとともに、活動紹介者との意見交換などを通じて、活動の輪を広げることができた。引き続き三茶のミライ策定や具体的な取組みの推進に活用していく。
- ✓ また、今後のまちづくりの展開においても、参加型ワークショップや情報共有、オンラインに不慣れな方へのサポートを行いながら、コロナ禍においても、誰もがまちづくりに参加できるよう努めていく。